

教えることと育てること



教師は、知識・技能を
教えるとともに、一人ひ

とりの子供を育てることに目を向けなければ
ならない。

知識・技能を教授することは大切であるが
それが教育のすべてのように考え、子供自体
が伸びる力をもつことを軽視することになる
と、子供の人格形成上にも問題が生じること
になる。

人を育てるといふことにかかわって、「か
け肥おばさん」(『読むくすり』PART IV 上
前淳一郎著 文藝春秋刊)という話書い
てあった。

ミヤコ蝶々さんは 大阪・箕面市の自宅の
庭で野菜を育てている。前の夜どんなに遅く
なっても、朝六時半に起きてトマトやキュウ
リ、ナスに水をやる。

「そのとき野菜にね、どうや、できたか、ち
ゅうて聞くんです」

花が咲けば ほめてやる。

「立派な花や。よう咲いたなあ」

実がつきはじめたら励ます。

「あんたら どないや。よそに較べて大きゅう
なりようが遅いんやないか。頑張らなあか

んで」

いよいよもぐときは 野菜と相談だ。

「ご苦労さんやったなあ。もう、食べてもえ
えやろか」

ほめてやれば 花はいつそうよく咲く。

励ますと 実はめきめき大きくなる。

食べたいといえは 野菜は喜びにふるえて
みせる。

「ほんまでっせ、黙っとたらあきまへん」

さらに、後段では、植物でも声をかけるく
らい愛情をかけてやらないと育つものも育た
ないし、まして人間相手のときは、愛情をも
って一人ひとりに声をかけることの大切なこ
とが、具体例をあげながら書かれている。

子供は「親や教師の後ろ姿を見て育つ」と
いわれる。育てるといふことは、己れの人格
を投与して行くことでもある。

ほめたり、励ましたりするためには、子供
の努力を愛情をもって見ていなければならない
し、日頃から信頼し尊敬している先生が声
をかけてくれるからやる気が育つ。

育てようとして一人ひとりの子供を見つめ
るとき、子供が何を求めているかが見え「か
け肥」がかけられるのではあるまいか。

共同研究紹介

広島市教育センターでは当面する緊要な教育課題をとらえ、研究協力員の先生方の協力を得ながら共同研究を行っています。今回は「学級経営」に関する共同研究の概要を紹介いたします。詳しくは、本年4月刊行予定の「研究紀要」第6号を御覧下さい。

学級における遊びと人間関係に関する研究

「よく学び、よく遊べ」は、昔から子供の生活の理想の姿であったが、現在ではその生活のバランスがくずれ、子供同士の触れ合いが乏しくなって、友人関係にひずみが生じてきている。そこで、幼児期から児童期の園や学校生活における友人関係に視点を当てて、遊び能力と対人関係能力（学級集団内における地位）との関係を明らかにし、学級における人間関係の改善を図る研究に取り組んだ。

次にその研究の一部を紹介する。

遊び能力の調査と人間関係

遊び能力を構成する因子として、表1の12の項目を設定し、

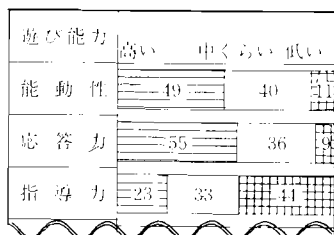
図1に示すように三段階評価による分析を試みた。特に発達段階・男女間に視点を当てて遊び能力の特性を探ってみた。

分析の結果、遊び能力の全体構造や傾向が明らかとなり、人間関係を改善していく指導の手がかりを得ることができた。

表1 遊び能力構成因子

| | | | |
|---|-----------|-------------|---------|
| 社 | 能 動 性 | 創 造 性 | 自 大 度 |
| | 応 答 力 | 認 識 性 | 発 想 力 |
| 会 | 指 導 力 | 認 識 ・ 操 作 性 | 運 動 能 力 |
| | 協 力 度 | | 理 解 度 |
| 性 | 役 割 遂 行 度 | | 関 心 度 |
| | 規 則 遵 守 度 | 楽 観 性 | 喜 悦 度 |

図1 低学年遊び能力調査



（数字は%を示す）

学校生活の活動場面（遊び・学習・作業集団）を設定し、ソシオメトリック・テストを実施した。その結果、対人関係能力と遊び能力との関係では、次のようなことが明らかとなり、また、遊び能力が集団形成に重要な役割を果たしていることもわかった。

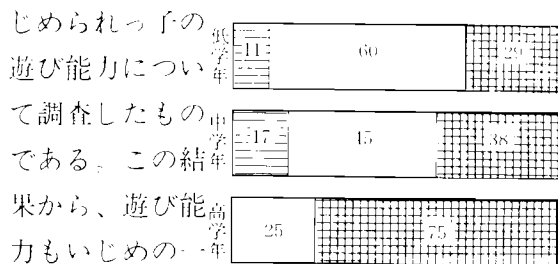
● 選択される子と遊び能力 「喜悦度」（明るい・楽しい・おもしろい）が、仲間選択の第一位に取り上げられ、集団形成に大きな役割を果たしている。次いで、「協力度」「応答力」「役割遂行度」等の遊び能力が選択の対象となっている。

● 排斥される子と遊び能力 「協力度」「喜悦度」「規則遵守度」などの遊び能力に欠ける者（おこりっぽい・こわい・乱暴）は、最も嫌われ、排斥理由の上位となっている。

● 集団内で社会的地位指数の低い子供は、遊び能力の低い子供とほぼ一致している。この傾向は、学年が進むにつれて顕著になっている。

いじめられっ子と遊び能力

右の図は、い



（数字は%を示す）

対人関係能力と遊び能力

対人関係能力を明らかにするために、園や

（「学級経営」共同研究グループ）

子供たちが大満足の「パック積木」

広島市立矢野幼稚園教諭 生田 佐智子

いつも新しい教材の手がかりを発見する実技講座。今年の収穫は「パック積木」とも軽くて丈夫！子供たちは並べたり組み合わせたりと安心して使えることに大満足です。



幼稚園教育実技講座

創意工夫のあるエプロン作り

広島市立戸山小学校教諭 松村 繁

ミシンの取扱い方やミシンを利用した製作実習では、児童の習熟度や興味関心に個人差があり、指導上の悩みをもっていました。しかし、この講座で指導を受けたエプロン作りは、画一的でなく、創意工夫を引き出せるものでした。早速、授業の中に取り入れていきます。



小学校家庭科実技講座

受 講 者 からの 便 り

がんばっています！



教具の研究に取り組みたい

広島市立瀬野川中学校教諭 中川 博文
日頃教材研究といっても机の上でのことが中心になりがちです。講座で製作した教具を



中学校数学科指導講座

授業に使ってみると、興味づけも以前より深まり、定着度もよくなりました。これを機に、教具の研究に取り組んでみたいと思います。

研修目標を持って仕事をしています

広島市宇品公民館主事 住本 吉秋
公民館職員になって一番苦勞していることは、講座の企画・運営です。なかなか良い案が思い浮かびません。「何か一つは研修目標を持って仕事を」と講師が話されたことを思い出しながらがんばっています。



社会教育新規担当者研修講座



発 表 践

—学習指導研修講座より—

*運動の楽しさを体験させる器械運動学習

広島市立牛田新町小学校教諭

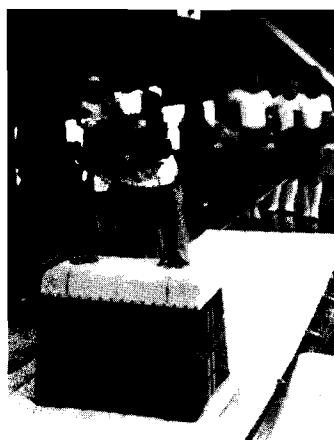
佐藤 芳郎

体育科の目標として「運動が楽しくできる」ことが強調されて6年目を迎えている。運動の楽しさとは、運動種目の特性に触れる楽しさであり、児童の運動欲求が充足されて、はじめて体験できる楽しさである。

児童が感じている器械運動の授業における楽しさは、因子分析の結果「達成、挑戦、親和、そう快、スリル」の5因子であり、達成の因子は、楽しさを強く説明し、スリルの因子は、器械運動独特な楽しさの因子であることが研究の結果解明された。

そこでこれらの因子の楽しさを体験させることが学習の中心課題であると考え、以下の事を考慮して学習を展開した。

1. 連続技を表現することに主題をおき、器具の配置も各班、



各自で工夫させた。
2. 班ごとに規定の動きを決め表現させることにより、全員ができたという達成の楽しさや仲間と集う親和の楽しさを体験させる。

3. 自由種目を表現させることにより、挑戦、そう快、スリルの楽しさを体験させる。

4. 尺度表を導入して、楽しさの評価をする。

今後とも運動の楽しさを科学的に解明し、体育学習に生かしたいと考えている。

*やる気を起こさせる学習指導

広島市立福木中学校教諭

片岡 泰幸



私は授業の導入では、「今日はどんなことを学習するのだろうか」という知的好奇心や興味を生徒に持たせることを心がけている。例えば導入に「今日は、円に内接する四角形の向かい合う内角の和は2直角であることを学習しよう」では、生徒に知的好奇心や興味を持たせられない。この発問は、その授業が達成すべき指導目標にすぎない。導入の段階で示された指導目標がつかめるのは、指導のまとめの段階に至ったときである。そこで前述の目標を踏まえて、「どんな四角形でも円に内接するとは限りません。従って円に内接する四角形にはどんな性質があるでしょうか」と発問したらどうだろうか。生徒は今から学習する内容の具体的なイメージ化、授業展開の予測ができ、「考えてみよう」「やってみよう」という気になるのではなからうか。

導入ひとつを工夫することでも、生徒の学習意欲を高めることができる。生徒たちが積極的に学習しようとする意欲を促進することが、やる気を育てる授業に結び付くと考えている。

作文の評価と処理

広島市教育センター指導主事 佐々木英美子

文章表現力の育成が学習指導要領に大きく打ち出され、現在では、国語授業における作文指導に充てられる時間は、かなりのウェートを占めるようになってきている。それでは児童生徒の文章表現力が著しく伸長したかという、言下にそうだとは言えない状況下にある。そこで、このような状況の打開策の一つとして、「作文の評価と処理」について考えてみたい。

評価について

● 指導目標の明確化と観点別評価

指導に評価はつきものであることは言を待たない。しかし、指導目標とのかかわりの中で評価が行われているかという、そこには問題が残る。

まず指導目標について言えば、どういう作文をさせようとするのか、これを明確にすることが大切である。例えば、「よくわかるように」とか「生き生きと」というのではなく、そのためにどうすればよいのかを細かく具体化したものにするのである。これはそのまま評価の観点となる。

次に評価の仕方であるが、これは目標に即した評価、上述の観点による評価であることが、児童生徒の作文力を伸ばすのに有効に働く。例えば、「文章の組み立て」を目標とした場合、「表記・内容・文章表現の巧拙」などすべてにわたって評価することは避けたい。そうでないと、児童生徒は学習内容と評価のずれに戸惑い、どうすればよいのか混乱してしまう。

● 評価の時期

評価というと、とかく完成した作文だけがその対象となりがちである。しかし、評

価は完成品の巧拙だけでなく、材料集め、構想の適否、記述の過程での取り組みなど記述前、記述中の状態もすべて対象となるものである。

● 評語・添削

「赤ペンの海」といわれるほど児童生徒の作文を微細に添削してあることがある。また、児童生徒と物の見方・感じ方が主観的に相容れない場合、教師の強引な感性統一が評語に見られることがある。これらは、児童生徒の作文意欲を減退させてしまう。

どこか一つでもよい点を見つけて伸ばしてやるような温かい励ましの評語あるいはチェックやヒントを与えるだけで自分で考えさせるような添削が効果的である。

処理について

● 早くする

完成品の作文は、たとえそれが論説文であっても、それは児童生徒から教師へ宛てた手紙なのである。速やかに返事を出さないと彼らの作文意欲は減退してしまう。

● 評価の方法を考える

「作文はさせたいが、後始末のことを考えると、つい二の足を踏む」という声を耳にすることがある。処理に関する教師の負担はそれほど大きい。

そこで、評価の観点を明確にした上で、児童生徒に自己評価・共同評価・相互評価などをさせたい。これは、児童生徒の文章を見る目を養い、文章表現力育成に役立つ。また、先にあげた教師の負担軽減にもなる。

適正な評価と時宜を得た処理は、児童生徒の作文力向上に効あるものと考えられる。

—前期(4月～9月)—

【見聞録】

「子供の見える教師に」

広島市立原小学校教諭 今田善行
授業の中での子供の反応の多様性に、改めて驚きを感じる。これまで、教師として彼らにどのような対応をしてきたであろうか。特に、系統性の強い算数でのつまずきは、今後の学習の命取りになりかねない。

一人ひとりの子供の見える教師をめざして、子供と共に前進したい。

【見聞録】

「より一層の自己啓発を」

広島市立宇品東小学校教諭 越智文嗣
理科教育の研修に加えて、良き指導者や文

献との出会いにより、教職生活を省み、自己研さん姿勢を問い直す場となりました。現在は「愛き事のなおこの上に積もれかし限りある身の力ためさん」(熊沢蕃山)という姿勢で自己啓発に努めています。



修了式後 下西所長を囲んで

【見聞録】

「研修の成果を授業に」

広島市立祇園東中学校教諭 向井康昭
英語科の学習指導に関する基本的な事柄を多面的に研修しましたが、とりわけ、外国人英語指導

者と接するなかで、英語教師としての英語運用力の大切さを知りました。学校に帰った現在、センターでの研修の成果を授業の中のできるだけ取り入れるよう努力しています。

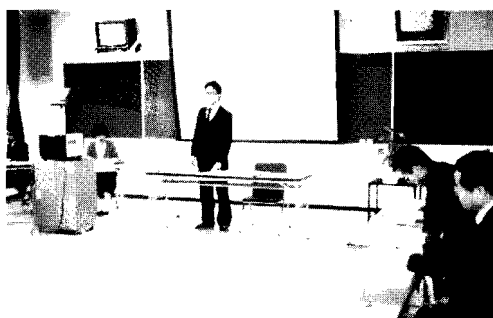
昭和60年度 教員特別研修生紹介

—後期(10月～3月)—

【見聞録】

「子供たちの姿を思い浮かべながら」

広島市立亀山南小学校教諭 宮下俊英
子供たちの生き生きした音楽学習の姿を思い浮かべながら、実態調査をし、多くの本を読み、曲を分析・編曲していると、これまでの疑問が解決したり、新しい発見をしたりします。グループ合奏の研究の中に、これらの得たものを充分に取り入れて、楽しい音楽学習を探っていきたい。



中間報告会

【見聞録】

「待ち遠しい子供たちとの再会」

広島市立南観音小学校教諭 広兼明子
私は今、ねらいにそった学級集会活動にす

るための指導法について研修しています。学校を離れての研修なので、最初は随分と戸惑いでしたが、この機会にこれまでの教育実践をもう一度みつめ直しています。子供たちとの再会が待ち遠しいこの頃です。

【見聞録】

「どん欲に学びたい」

広島市立安西中学校教諭 香川豊志
一時期とはいえ学校を離れ、自らを振り返るとこれまで生徒を大切にとは言っても、まだまだ人

間同士のつきあいができていなかったように思います。この機会にできるだけ多くの本を読むと共に、先輩諸先生方の指導を受けて、これまでの勉強不足を補おうと思っています。

広島市立学校教育研究生紹介

本年度は22名の先生方が広島市立学校教育研究生として、9月から11月の3か月間、当教育センター及び在勤校において研修をされました。ここでは紙面の都合上研究主題を紹介いたします。詳しくは、本年4月刊行予定の「研究集録」第4号を御覧ください。

国語科

児童の意欲的・主体的な学習活動を育てる指導法に関する研究

広島市立楠那小学校教諭 小瀬 邦夫
短作文の方法を取り入れた作文指導

広島市立三和中学校教諭 池之子 英利

社会科

観察・調査活動を生かした指導法の研究

広島市立落谷東小学校教諭 白木 真佐江
地域素材の教材化とその指導法に関する研究

広島市立鈴が峰小学校教諭 谷本 誠一

数学科

論証指導について

広島市立瀬野川中学校教諭 迫 昌彦

理科

地域の自然を生かした野外学習に関する研究

広島市立新和小学校教諭 斉藤 隆登
植物に親しむ楽しさを味わわせる理科指導

広島市立井口北小学校教諭 木村 照男
「電磁石」に関する基礎研究とその教材化

広島市立原南小学校教諭 坂田 良弘
生徒が楽しく意欲をもってとりくめる指導法の改善

広島市立安西中学校教諭 中佐 博信

音楽科

映像を取り入れた音楽鑑賞授業の一考察

広島市立似島学園中学校教諭 升島 洋州

図工科

生き生きとした活動をめざす造形指導のあり方

広島市立井口小学校教諭 太田 淑子

外国語科

生徒のつまずきの要因と指導法の研究

広島市立清和中学校教諭 白井 弘恵

英語科

高校におけるリーディング指導に関する研究

広島市立安佐北高等学校教諭 野村 勝美

特別活動

生徒が意欲的に活動する係活動の指導法に関する研究

広島市立己斐中学校教諭 河野 博史

保健体育

個の確立と相互理解を深める指導法

広島市立舟入小学校教諭 吉野 輝国

教育相談

学級担任による教育相談の取り組みと展開

広島市立亀山小学校教諭 多田 昭枝
人間関係に問題を持つ児童の教育相談

広島市立基町小学校教諭 野村 誠公
標準心理検査を手がかりにした教育相談
広島市立広島工業高等学校教諭 有馬 良彦
高校生の心理的特徴と家庭の養育態度

広島市立舟入高等学校教諭 末田 良陽

キャリア教育

学級指導における自作ビデオ教材の活用とその効果

広島市立日浦小学校教諭 小林 俊明
技術・家庭科〔木材加工2〕における「関心・態度」の評価法の研究

広島市立国泰寺中学校教諭 台丸 広

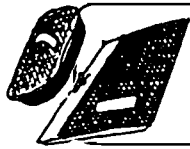
芸術

発達段階に即した音楽教材の研究

広島市立中筋幼稚園教諭 井原 貴子



◀ 研究報告会



教育センターこの一年



教養講座に700名



◀講師に児童文学者今江 祥智先生をお迎えした教養講座に700名の方々が参加されました。豊富なエピソードを織り込んだお話は、大変好評でした。



広島大学留学生も研修に参加



▲世界各国からの広大留学生の方々も、希望の講座に参加されました。メキシコの高校の先生、ミルドレッドさんは、教材作成講座でOHP、ビデオ教材等の研修をされました。

海外からの来所者相次ぐ



◀本年度も海外からの教育視察が相次ぎました。写真はアメリカ・ミネソタ州教育視察団の一行です。

盛んに行われた随時研修



▲教育センターの施設・設備を活用した校内研修等の場としても大いに活用されました。
— 随時研修参加者数 —

2,711名（1月末現在）

館内を飾った先生方の作品

▶本年度も市立学校等の美術・書写関係研究会に所属されている先生方の作品を館内に展示させていただきます。



展示中の作品

（絵画24点、彫塑2点、デザイン1点、書8点）



編集後記

本年度最後の所報をお届けします。今回は、市立学校等の先生方に原稿をお願いして、教育研究・実践発表を中心に編集しました。教育実践に役立てていただければ幸いです。